

乳腺外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 乳癌組織におけるオートタキシン発現と術前化学療法の効果と予後についての関連に関する研究

【研究機関】 北海道大学病院乳腺外科

【研究責任者】 北海道大学病院乳腺外科 教授 山下 啓子

【研究の目的】 乳腺疾患の新しい診断・分類法を開発する為

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成16年1月1日から平成26年12月31日の間に術前化学療法を行った乳がんの方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：乳がん組織（化学療法前の針生検と手術検体で、北海道大学病院病理部に保管されているもの）

カルテ情報：年齢、性別、閉経状況、身長、体重、妊娠・授乳歴、最終観察日、転記、診断名、手術名、治療内容、乳癌の病理組織所見、血液検査結果（白血球数、肝機能、腎機能、電解質、腫瘍マーカー）、画像検査所見（マンモグラフィ、CT、MRI、エコー、骨シンチ、骨密度）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院乳腺外科 担当医師 山下 啓子

電話 011-706-7381 FAX 011-706-7384